

重点項目1	進んで相手の話を聴くことができる。〔よく考える子ども・助け合う子どもの育成〕
具体目標 数値指標	<p><低学年>・・・相手の話を最後まで聴く。</p> <p><中学年>・・・相手の話を最後まで静かに聴く。</p> <p><高学年>・・・相手の話の意図を推測しながら聴く。</p> <p>※ 達成率:ほぼ達成した児童の割合→1学期70%、2学期80% (自己評価カードや教師の見取りから)</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し手と目をつないで聴く」「反応しながら聴く」ことを、どの学年でも共通して指導する。 ・「友達に聴いてもらえる」という温かい人間関係を重視した学級づくりをする。 ・教師自身が子どもの気持ちをしっかりと聴き、子どもの発言の真意をとらえる。 ・「話す」「書く」を指導することで、聴く力を育てる。 ・学年部会で、相手の考えを受け止めて積極的に発言する具体的な姿をとらえ、教師の手立てについて研修する。 ・外部講師を招聘し、「相手の考えを受け止めて発言する」観点から、「伝え合って学ぼう」とする子どもの育成法について研修を進める。
外部評価者	学校教育評価委員会
公開の方法	研究のまとめ、学校通信、ホームページ等

重点項目2	進んであいさつをすることができる。〔助け合う子ども・元気な子どもの育成〕
具体目標 数値指標	<p><低学年>・・・朝、大きな声であいさつをする。</p> <p><中学年>・・・朝、自分からあいさつをする。</p> <p><高学年>・・・場に応じたあいさつをする。</p> <p>※ 達成率:ほぼ達成した児童の割合→1学期70%、2学期80% (自己評価カードや教師の見取りから)</p>
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会や生活委員会など児童会が主体となって、全校にあいさつの輪を広めるような取り組みを行う。 ・「生徒指導主事」「校内生活指導担当」が中心となり、教師集団としてできる取り組みを行う。 ・安定した人間関係が実現する授業づくり、学級づくりに努める。 ・学級活動や帰りの会などで、好ましいあいさつの仕方を指導する。 ・教師自らあいさつの手本を示したり、よい子どものあいさつを紹介したりする。 ・道徳の時間を活用して、あいさつの大切さを心に受け止めるようにする。 ・PTAや外部団体と連携し、あいさつ向上に取り組む。
外部評価者	学校教育評価委員会、学校安全パトロール隊
公開の方法	学校通信、ホームページ等

年間計画

月	主な行事	PDCAの流れ Plan Do Check Action	学校評価システム				
			自己評価			外部評価	
			児童	教職員	保護者他	学校教育評価委員	
4	入学式 授業参観 PTA総会 家庭訪問	本年度の基本方針の提示 評価項目の提示・説明 P		本年度の基本方針及びアクションプランの決定	PTA総会で学校運営方針の説明		
5	運動会	実践 D	実践	学校評価検討委員会 研究推進委員会 各分掌部会	アクションプランの公表 (学校だより、HP等)		
6	一日参観						
7	保護者会	中間評価 C	アクションプランの中間評価(児童・教職員)				
8		計画の見直し 改善策の検討 A		学校評価検討委員会 研究推進委員会 各分掌部会	学校教育評価委員への説明		
9	授業参観	改善案の実施 D	実践				
10	授業研究会 学習発表会						
11	研究集会 一日参観						
12	保護者会	年度末評価 C 評価の集計・分析	アクションプランの評価(児童・教職員・保護者)				
1		改善案の実施 D	実践	学校評価検討委員会 研究推進委員会 各分掌部会	学校教育評価委員への意見聴取		
2	授業参観	外部評価 C 次年度への課題と改善策 A		研究推進委員会 各分掌部会	評価結果の公表 (学校だより、HP等)		
3	卒業式					評価結果の報告(地教委)	